

4. 昭和 33 年度の研究成果発表の状況

出 版 物

次の 3 種がある。

東京大学生産技術研究所報告（略称：生研報告）

所員のまとまった研究成果を発表する。文は和文または欧文とし、不定期発行で年間 10 種前後を出している。

生 産 研 究

研究の解説的紹介と速報的紹介とをかね、月刊で出している。

以上は、当所の発行の分で、その他随時に学会誌、協会誌の各誌に発表している。

生研リーフレット

生研の研究成果で、実用化への手引とするため、簡略に写真中心に編集したもので、現在 76 種を発行している。

昭和 33 年度（4 月～3 月）に発表した分を次に列挙する。

A. 東京大学生産技術研究所報告（研究発表誌）

巻号	題 目	著 者	発行年月
7・6	模型送電線による電力線搬送の分布結合に関する理論的ならびに実験的研究	高木 昇 斎藤 成文 黒川 兼行 相沢 清澄 阿部 永雄 尹 志重	33. 11
8・1	ラジアルガスタービンの研究	水町 長生	33. 12
8・2	オーデトリラムの室内音響設計と施工に関する研究	石井 聖光	33. 12
8・3	交流ブリッジポーラログラフィの応用に関する研究	高橋 武雄 白井ヒデ子 仁木 栄次	34. 2

巻号	題 目	著 者	発行年月
8・4	耐電理論に関する基礎的研究	田治見 宏	34. 3
8・5	電子管式アナログ・コンピュータ（繰返し型）の研究	野村 民也	34. 3

B. 生産研究（月刊研究紹介誌）

巻号	題 目	著 者	発行年月
10・4	所長就任挨拶	福田 武雄	33. 4
	特殊陽極を用いるマグネシウムの電解製錬	江上 一郎	
		細田 正	
	日本の製鉄技術史の一側面	金森 九郎	
		中沢 護人	
	日本の建築家	村松貞次郎	
	訪ソ旅行メモ（2）	竹中 規雄	
	ドロップ試験について（速報）	三木五三郎	
	Pb-Sb 合金の時効に関する研究—Pb-Sb 純 2 元素におよぼす微量の As の影響—	加藤 正夫	
	（速報）	西川 精一	
10・5	重水素核衝撃による放射性ピストンリングについて（速報）	加藤 正夫	33. 5
		津田野 敏	
		高井 義郎	
		梅原 明	
	薄肉鋼管構造の強度試験（速報）	田中 尚	
	電子顕微鏡による金属の研究	谷 安正	
	計数率計の高速度化	森脇 義雄	
		河村 達雄	
	ドリフト・トランジスタの誘導性アドミタンスとその接合障壁容量	安達 芳夫	
	エネルギー源としての熱核融合反応	後川 昭雄	
Pb-0.02% Ag 合金の時効（速報）	富永 五郎		
10・5	磁気テープ録音式多重情報蓄積装置（速報）	西川 精一	33. 5
		藤高 周平	
		野村 民也	
		田代之助	

巻号	題	目	著	者	発行年月
10・6	井口常雄先生を懐う チャートの End Effect—光学系のレスポ ンス函数測定に有限本数チャートを用い る影響— ブルドン管の応力分布 放射性廃棄物の処理について—欧米での見 聞— ラジアルガスタービンの研究 (第8報) —試作 ラジアルガスタービンの性能— (速報) 自動記録分光光度計の試作研究 (速報)		山本	尚志	33. 6
			星合	正治	
			小瀬	輝次	
			鈴木	恒子	
			小川	正義	
			古川	浩	
			笠松	勇	
			山本	寛	
			水町	長生	
			内田	正次	
	金子	和男			
	高橋	武雄			
	三宅	信千			
10・7	船側におけるウェーブ・プロフィルの記録 屋根の防火性能について 通路の安定処理に用いるソイルセメントに ついて—その安定性を試験する際の問題 点— 銅浴中酸素分析試料採取法について フランスの二つの水理研究所について 吊橋の耐震設計公式 (速報) アルギン酸のイオン交換反応の研究 (速報) アルギン酸のイオン交換反応による Al と Be の分離 (速報) 羊毛の体積弾性について (速報) 金属材料の変形抵抗 (純銅) (速報)		高橋	幸伯	33. 7
			星野	昌一	
			三木五三郎		
			松下	幸雄	
			井口	昌平	
			岡本	舜三	
			久保慶三郎		
			伯野	元彦	
			高橋	武雄	
			江村	悟	
	高橋	武雄			
	白井ヒデ子				
	池田	健			
	吉屋	勲			
	橋爪	伸			

巻号	題 目	著 者	発行年月
10・8	ステンレス鋼線引抜用の造膜剤 について (速報)	鈴木 弘 大井 澄佳	33. 8
	油圧電動装置について	石原 智男	
	強さの加え算	田中 尚	
	文化財の保存科学	関野 克	
	インド紀行	坪井 善勝	
	空気調和用吹出口の発生騒音について (速報)	勝田 高司 後藤 滋 寺沢 達二	
	パネル型エア・フィルタの性能試験について (速報)	勝田 高司 後藤 滋 寺沢 達二	
	チタン酸バリウム歪計 (速報)	岡本 舜三 佐藤 吉彦	
	中空振れ管による圧力測定を試み (速報)	小川 正義 吉川 浩 笠松 勇	
	10・9	高性能ラジアルガスタービンについて ADP 光変調器	
直流電動機の機械的出力測定		沢井善三郎 稲葉 博 鈴木 幹二	
エチレンと四塩化炭素のテロメリゼーション		浅原 照三	
米国と自動車 (帰朝談)		久保田 広	
天然色航空写真に関する研究 (速報)		丸安 隆和	
10・10	カッパ IV 型ロケットについて	糸川 英夫	33. 10
	カッパ 122S ロケットについて	糸川 英夫	
	カッパ 150 型ロケットについて	糸川 英夫	
	カッパ V 型ロケットについて	糸川 英夫	

巻号	題 目	著 者	発行年月
122	アンテナ機 IV 型およびV型ロケット	玉木 章夫 三石 智 武井 道男 永井 達成	
	カッパ IV 型, 122 S 型, 150 S 型およびT型, V型の性能計算について	秋葉鎌二郎 広沢 暉夫 交吉 尚重 北坂 秋秀 田中 雅子	
	カッパ IV 型, V型, 122 S 型, 150 S 型お よびT型の重量, 重心位置, 慣性モーメ ントの測定について	糸川研究室	
	カッパ IV 型用およびその他のランチャー の構造	池田 健 古田 敏康	
	カッパ150型ロケットの強度試験結果	森 大吉郎 古田 敏康 藤城 清治	
	カッパ IV・V 型ロケットの振動試験結果	森 大吉郎 富田 文治	
	カッパ IV 型よりカッパV型にいたる間に おけるテレメータおよびレーダ装置の実 験概要	高木 昇 野村 民也 黒川 兼行	
	K-4B型テレメータ送信機	大井 克彦 佐伯 昭雄	
	テレメータ実験結果とその考察	テレメータ 研究班	
	カッパ 122 S-Tのアンテナ	黒川 兼行 須田 徳蔵 瓜本 信二	
	測距式レーダの構成とその特性	倉茂 周芳 福島 茂	

巻号	題 目	著 者	発行年月
	カッパ IV 型・V 型の自動追跡レーダ実験結果	レーダ研究班	
	カッパ IV 型, 122 S 型, 150 T 型, V 型用加速度計とその計測結果	吉山 巖 中村 円生 広沢 曄夫	
	ロケット搭載用抵抗線歪計 (第 2 報)	森 大吉郎 富田 文治 岡田 繁	
	白金温度計による尾翼温度上昇の測定	野村 民也 山本 尚志 合田 周平	
	カッパ IV 型, 1, 2 号機の光学的追跡について—高速飛しょう体の光学的追跡に関する研究 (第 19 報)—	植村 恒義 山本 芳孝 伊藤 寛治 山谷健三郎	
	カッパ 122-S 型 1 号機の光学的追跡について—高速飛しょう体の光学的追跡に関する研究 (第 20 報)—	植村 恒義 山本 芳孝 鷹野 修二	
	カッパ 122-ST 型 1, 2 号機の光学的追跡について—高速飛しょう体の光学的追跡に関する研究 (第 21 報)—	植村 恒義 山本 芳孝 鈴木 忠雄	
	カッパ 150 S 型 1 号機の光学的追跡について—高速飛しょう体の光学的追跡に関する研究 (第 22 報)—	植村 恒義 山本 芳孝 鷹野 修二	
	カッパ 150-T 型 1, 2 号機の光学的追跡について—高速飛しょう体の光学的追跡に関する研究 (第 23 報)—	植村 恒義 伊藤 寛治 鈴木 忠男	
	カッパ V 型 1 号機の光学的追跡について—高速飛しょう体の光学的追跡に関する研究 (第 24 報)—	植村 恒義 戸田 健次 山本 芳孝 伊藤 房江	
	カッパ IV 型の観測記録	丸安研究室	

巻号	題 目	著 者	発行年月
	カッパ IV, V型ロケット飛しょう実験における通信連絡	高中 泓澄 横田 和丸 市川 初男	
	宇宙線計測器	宮崎友喜雄 竹内 一 今井 喬 大塚 好造 成田 昭三	
	秋田県協力会警備打合会概要	下村潤二郎	
	カッパ IV 型, 122S 型, 150S および T 型, V 型飛しょう実験記録	広沢 曄夫 井上 俊男 荘司 幸子	
10・11	プラスチックの着色について	永井 芳男	33. 11
	電子写真について	白沢 謙	
	パンタグラフの力学	野崎 弘	
	摩擦型抵抗線歪計 (速報)	柴田 碧	
	鉄鋼製鍊反応進行度の実験装置 (速報)	大井光四郎	
	切削剤のジェット給油 (速報)	小倉 公達 松下 幸雄 竹中 規雄 鳴沢 勇平 吉岡 潤一	
10・12	建築工業生産化のためのモジュール (標準数) の確立について	池辺 陽	33. 12
	電子写真の応用	野崎 弘 坂田 俊文 原 浩	
	Dome Dam の Prestressing について	岡本 舜三	
	ダクト系に用いる消音器に関する実験	勝田 高司 後藤 滋 寺沢 達二	
	超音波濃度計	石橋 泰雄	

巻号	題 目	著 者	発行年月
	鉄鉱石流動還元の反応速度 (速報)	市川 初男	
	板状吸音材料の吸音特性について (速報)	原 善四郎	
		渡辺 要	
		石井 聖光	
		木村 翔	
	千葉県産木材の強度について (速報)	久保慶三郎	
		上野 五郎	
	抵抗線ひずみ計の防湿 (速報)	高橋 幸伯	
		内山 厚克	
	逆応答プロセスのサンプル値制御 (速報)	森 政弘	
		正満 敏雄	
	O. J. M. Smith の方法による逆応答プロセスの連続制御 (速報)	森 政弘	
		松本 幸生	
11・1	研究所と大学院とについて	福田 武雄	34. 1
	座談会特集 "物理と化学のゆくえ"	井口 昌平	
		斎藤 成文	
		末岡 清市	
		関野 克	
		高橋 武雄	
		平尾 収	
		福田 義民	
		松村 担三	
		松下 幸雄	
		富永 五郎	
		永井 芳男	
11・2	γ -アルミナの変態について	李 海洙	34. 2
		一色 貞文	
	合成樹脂の耐熱性と燃焼性	星野 昌一	
	レオロジー—分散系に対する適用を中心として—	妹尾 学	
	ファンボロ指圧計の電気回路について (速報)	平尾 収	
		小高 庄二	

巻号	題 目	著 者	発行年月
	スラリーの管内熱伝達について (速報)	橋 藤雄 森下 輝夫	
	レールに生じた高次振動 (速報)	岡本 舜三 久保慶三郎 佐藤 吉彦	
11・3	補助翼バズに関する実験	玉木 章夫 永井 達成	34. 3
	基礎地盤調査に用いる各種のサウンディング方法について	三木五三郎	
	研究所付属工場の工程管理について	鈴木 正吾	
	欧州に使用して	金森 九郎	
	Ni 80-Cr 20 合金の抵抗焼結 (速報)	原 善四郎 島崎 俊治	
	イオン交換における総括物質移動系数について (速報)	山本 寛 丸山 隆 有吉 繁樹	
	セン断によって体積が変化する土の力学理論 (速報)	星 埜 和	

C. 生研リーフレット

No.	題 名	研究者名
65	第2号ラジアルガスタービン (ラジアルガスタービンの研究, その2)	水町 長生
66	試作・溶接部ガス分析装置	安藤 良夫 藤村 理人
67	小型ドラム式新超高速カメラ (植村式 M-4 型)	植村 恒義
68	Faraday 効果利用の瞬間写真用超高速シャッター装置	植村 恒義
69	自動追尾レーダ装置	野村 民也
70	観測ロケット・テレメータ装置	野村 民也
71	測距式レーダ	レーダ研究班
72	自己着火液体反応の観測装置	浅原 照三 山本 啓太

No.	題名	研究者名
		雑賀 大武
73	連続糖化装置	中村 亦夫
74	小型写真図化機械と付属実体写真機	丸安 隆和
75	建築標準尺度 (GM module)	池辺 陽
76	住居の基本型の研究 (2) Level 構成について	池辺 陽

D. 著書および所外の学術雑誌に発表したもの

第 1 部

教授 岡本 舜三

Schwingungen im Untergrund eines Kavernenkrafthauses während eines Erdbebens¹: (水越達雄と共著), GEOLOGIE UND BAUWESEN **24**, 2, 1958.

アーチダム振動実測について: (久保慶三郎・加藤勝行と共著), 第2回地震工学研究発表会講演概要, 1958. 9.

吊橋の耐震性についての検討: (久保慶三郎・伯野元彦と共著), 第2回地震工学研究発表会講演概要, 1958. 9.

橋脚の振動に関する実験的研究: (久保慶三郎・伯野元彦と共著), 第2回地震工学研究発表会講演概要, 1958. 9.

極限設計法 (I): 土木学会誌 **43**, 8.

極限設計法 (II): 土木学会誌 **43**, 9.

地震工学研究の現況について: 発震水力 **32**.

チタン酸バリウム歪計について (スライド): (佐藤吉彦と共著), 第13回年次学術講演会講演概要 1958. 5.

教授 久保田 広

Diffraction image in the polarlysing microscope: (井上信也と共著) Jeur. Opti. Soc. America, **49**, 2, 191~198, 1959.

偏光顕微鏡における回折像の研究: 応用物理, **27**, 10, 608~613, 1958.

Diffraction Anamely in polarysng microscope: Nature, **182**, 1725, 1958.

教授 一色 貞文

放射線透過試験法 (精密工学講座): 日刊工業新聞社, 1959. 3.

助教授 山田 嘉昭

塑性基礎理論, 材料試験: プレス便覧, 1~49, 丸善, 1958. 4.

- 剛塑性体の降伏点荷重〔I〕：機械の研究，10，5，621～628，1958. 5.
 “〔II〕： “ 10，6，748～754，1958. 6.
 “〔III〕： “ 10，11，1342～1346，1958. 11.
 “〔IV〕： “ 10，12，1479～1484，1958. 12.
 “〔V〕： “ 11，2，272～278，1959. 2.

試作薄板試験機によるエリクセン試験について：（輪竹千三郎と共著），
 塑性加工講演会前刷，57～60，1958. 11.

助教授 大井光四郎

摩擦型抵抗線歪計：SMRC 報告 6，81，1958.

圧力遠隔測定の一方法：RMRC 報告 6，86，1958.

助教授 小瀬 輝次

On the measurement of Response function from the contrast of chart :
 Science of Light, 7, 3, 85～100, 1959.

技官 北川 英夫

Some Behaviors of Structural Steel Subjected to Corrosion Fatigue :
 （岡本舜三と共著），Proceedings of the Seventh Japan National Cong-
 ress for Applied Mechanics. 1957. 3.

腐食疲れに関する一考察：（岡本舜三と共著），日本機械学会誌 62，481，
 1959. 2.

橋梁用鋼材の腐食疲労について（第2報）：（岡本舜三と共著），第13回
 年次学術講演会講演概要 1959. 6.

研究員 大和田 信

中距離ロケットの弾道：日本航空学会誌，6，54，192～197，1958. 7.

Elastic Properties of Orthogonally Woven Structure : Transactions of
 the Japan Society of Aeronautical Engineering, 1, 1, 19～25, 1958.

Ballistics of Rocket III : Proc. 8th Japan N. C. T. A. M. 1958.

第 2 部

教授 竹中 規雄

内面研削盤運転検査工業規格案について：日本機械学会誌，61，478. 74～
 77，1958，11.

切削剤の切削機構におよぼす影響：(広野雅道と共著)，精密機械，**25**，**1**，
14～20，1959. 1.

教授 小川 正義

心無研削法に関する研究（第2報）：(宮下政和と共著)，精密機械，**24**，**6**，
1958.

心無研削法に関する研究（第3報，第4報）：(宮下政和と共著)，精機学
会春季大会講演予稿，1958. 5.

ブルドン管圧力計に関する研究（第6報）：(古川浩他1名と共著)，精機
学会春季大会講演予稿，103～105，1958. 5.

心無研削法に関する研究（第5報，第6報）：(宮下政和と共著)，精機学
会秋季大会講演予稿，1958. 10.

ねじの切削加工：改訂精密工作便覧，コロナ社，1958. 12.

教授 平尾 収

試作したディーゼル排気煙濃度測定用の明度計について：自動車技術会誌，
12，**10**，1958.

理論自動車工学（自動車工学講座）：(近藤政市，亘理厚，山本峰雄と共
著)，山海堂，1958. 7.

教授 亘理 厚

金属ばねの現状：機械学会誌，**61**，470，1958. 3.

摩擦による振動：機械学会第104回講習会教材，1958. 6.

自動車の振動：理論自動車工学，山海堂，1958. 7.

教授 水町 長生

ラジアルガスタービンの研究（第6報）：日本機械学会 内燃機関総合講演
会前刷，1958. 5.

高性能ラジアルガスタービンの研究（1,2,3,4）：機械の研究，**10**，**9**，**10**，
11，**12**，1958. 9，10，11，12.

教授 田宮 真

遊動水の動的影響について：造船協会論文集，**103**，59～67，1958. 7.

助教授 松永 正久

ラッピングに関する研究（第10報，平面ラップ盤による湿式ラッピング）：
精機学会春季大会講演会前刷，**2**，16～19，1958. 5.

接触電気抵抗測定法による表面検査（第1報，原理および装置，第2報，
実験結果）：(萩生田善明・内藤敏と共著)，同上，90～93.

加工面の変質層：金属，**28**，**10**，721～725，1958. 10.

バレル仕上の基礎：金属表面技術，**9**，10，388～394，1958. 10.

助教授 **大島康次郎**

An Digital Servomechanism Applied to the Numerical Control of Machine Tools : Preprint for Congreso Internacional de Automatica held in Madrid, 1958. 10.

試作ステッピングモータについて：(江川巖と共著)，第1回自動制御連合講演会前刷，1958. 11.

油圧平衡方式サーボ弁について：(左治木清吾他3名と共著)，第1回自動制御連合講演会前刷，1958. 11.

電気油圧双動形サーボ機構の解析：(富成襄，黒崎和彦と共著)，第1回自動制御連合講演会前刷，1958. 11.

電気油圧双動形サーボ機構の実験：(富成襄，黒崎和彦と共著)，第1回自動制御連合講演会前刷，1958. 11.

数値制御と工作機械：日本機械学会誌，1958. 6.

エレクトロニクス講座，機械工業への応用：共立出版，1958. 7.

自動制御の進歩：精密機械，1959. 2.

助教授 **植村 恒義**

瞬間写真用電氣的シャッタの研究 (第2報)：(外1名と共著)，第5回応用物理関係連合講演会予稿集，239，1958. 4.

ドラム式超高速度カメラの研究 (第4報)：(伊藤寛治と共著)，第5回応用物理関係連合講演会予稿集，241，1958. 4.

ロケットの光学的追跡に関する研究 (第7報)：(外1名と共著)，ロケットの光学的追跡に関する研究 (第8報)：(外1名と共著)，第5回応用物理連合講演会予稿集，177～178，1958. 4.

高速度写真：日本機械学会主催，機械技術者のための写真技術に関する講習会テキスト，117～130，1959. 2，10.

助教授 **安藤 良夫**

原子炉用軽金属の溶接：日本溶接協会原子力研究委員会編「原子力工業講座」第17章 430. 溶接ニュース出版局，1958.

溶接した工業用純チタンと 実用耐食合金の耐食性の比較：(藤村理人，飛田正蔵と共著)，溶接学会誌，**27**，9，538～542，1958. 9.

助教授 **石原 智男**

1段型トルクコンバータの一実験：(外2名と共著)，機械学会，第35期通常総会講演会前刷 1958. 4，3.

差動型油圧伝動装置の性能 (第1報): 機械学会 東京秋期講演大会前刷,
1958. 10, 28,

流体トルクコンバータの応用: 日本機械学会誌, **61**, 470, 248~251, 1958.

助教授 高橋 幸伯

水位計について: 造船協会論文集, **103**, 149~154. 1958. 7.

助教授 森 政弘

Statistical Treatment of Sampled-Data Control Systems for Actual Random Inputs: Trans. ASME, **80**, 2, 444~456, 1958.

プロセスにおける自動制御系の構成: オートメーション, **3**, 4, 1958, 9~12.

プロセスの計算制御の現状: エレクトロニクス, 1958-7, 1~4.

逆応答プロセスのサンプル値制御: (正満敏男と共著), 第1回自動制御連合講演会前刷, 1958. 49~50.

O. J. M. Smith の方法の拡張による逆応答プロセスの連続制御 (松本幸生と共著), 第1回自動制御連合講演会前刷, 1958. 51~52.

サンプル値制御とむだ時間対策: 日本機械学会誌, **62**, 480, 146~154. 1959.

助教授 柴田 碧

パンタグラフの力学 (Ⅲ): 機械学会第 35 期通常総会前刷, 1958, 4.

遠隔操作装置: 日本原子力産業会議・原子動力研究会講習会テキスト, V 6/6, 1958. 8.

パンタグラフ架線系の力学 (Ⅰ), (走行変動荷重による弾性支承上の弦の挙動): 第8回応用力学連合講演会前刷, 1958, 9.

パンタグラフ架線系の力学 (Ⅱ), (架線の動的特性他): 機械学会秋期東京講演会前刷, 1958. 10.

パンタグラフの力学: 電気鉄道, **12**, 10, 6~10, 1958, 10.

運転中の燃料交換について: 日本原子力産業会議, ジュネーブ・ペーパー・セミナ・テキスト, 炉工学部門, 46~55. 1959. 3.

Dynamics of Pantograph: Proc. 8th Japan Not. Congr. for Appl. Mech., 1959. 3.

助手 井田 富夫

水温を変えた場合のキャピテーションの一実験: 機械学会東京秋期講演大会前刷, 1958. 10, 28.

第 3 部

教授 藤高 周平

多チャンネル磁気録音式測定情報蓄積装置：(野村助教授と共著)，電気学会東京支部大会，40. 1958. 11.

Investigations of Lighting Protection for Electric Power System in Japan：CIGRE 会議・(パリ) 1958. 5.

教授 高木 昇

遠隔測定と遠隔制御：(大野豊と共著)，エレクトロニクス講座，共立社，1958. 4

トランジスタのテレメータ，テレコンへの応用：(大野豊と共著)，オーム，45, 4. 32~38, 1958. 3.

振動素子：電気通信学会誌 41, 4, 1958. 4.

教授 森脇 義雄

待時式交換線群の一特性：(河村達雄と共著)，電気 4 学会連合大会講演論文集，1061, 1958. 5.

パルス平均頻度測定の一方式：(河村達雄・久保卓蔵と共著)，電気 4 学会連合大会講演論文集，1062, 1958. 5.

高速度パルス波高分析装置：(河村達雄・久保卓蔵と共著)，電気通信学会全国大会講演論文集，255, 1958. 10.

パルス波高分析器の一方式：(河村達雄と共著)，電気学会放射線計測委員会資料，35-3, 1958. 12.

教授 沢井善三郎

抵抗溶接：(手塚一富，塩飽万寿男と共著)，溶接ニュース出版局，1958. 6.

基礎電子工学 (第 1~5 章執筆)：電気学会大学講座，1958. 10.

抵抗溶接：第 14 次東京都中小企業幹部職員研修テキスト，1959. 2.

助教授 安達 芳夫

基礎電子工学：(沢井善三郎，池田吉堯，関口忠と共著)，電気学会，1958. 10.

トランジスタ工学：(高木昇，後川昭雄と共訳)，無線従事者教育協会，1958. 11.

一様静磁界が存在する場合の平行平面電極間空間電荷電導問題，昭和 33 年電気四学会連合大会講演論文集，959, 1958. 5.

接合トランジスタの浮動電位の測定：(藤江明雄，市川勝男と共著)，同前，
979, 1958. 5.

成長接合トランジスタのエミッタ浮動電位の測定 (npn 型と pnp 型との相
異点について)：(市川勝男，斎藤敬助と共著)，昭和 33 年度電気通信学
会全国大会講演論文集，219, 1958. 11.

助教授 野村 民也

電子管式アナログ・コンピュータによる微分方程式の陰表的解法とその安
全条件：昭和 33 年電気 4 学会連合大会論文集，277 1957. 5.

多チャンネル磁気録音式情報蓄積装置，電気学会東京支部大会論文集 1957，
10.

助教授 尾上 守夫

Tables of Modified Quotients of Bessel Functions of the First Kind
for Real and Imaginary Arguments: Columbia University Press, New
York, U. S. A., 1958.

Gravest Contour Vibration of Thin Anisotropic Circular Plates: J. Acous.
Soc. Am. (U. S. A.) **30**, 634~638, 1958. 7., 55 th Meeting Acous.
Soc. Am. Paper No. U7, 1958. 5.

Contour Vibrations of thin Rectangular: J. Acous. Soc. Am. (U. S. A.)
30, 1159-1162, 1958. 12.

ドリフト・トランジスタのアドミッタンス変調—特にその誘導性アドミッ
タンス—：(安達芳夫・後川昭雄と共著)，電気 4 学会連合大会講演論
文集，981, 1958. 5.

Modified Quotients of Cylinder Functions: Mathematical Tables and
Other Aids to Computation (U. S. A.) **10**, 27, 1956 .1.

Contour Vibrations of Isotropic Circular Plates: J. Acous. Soc. Am.
(U. S. A.) **28**, 1158-1162, 1956. 11.

助教授 黒川 兼行

空洞共振器の一般論；材料測定：電気通信学会編，マイクロ波工学，コロ
ナ社，1958.

The Expansions of Electromagnetic Fields in Cavities: Trans. IRE,
MTT-6, **2**, 178~187, 1958. 4.

模型送電線による電力線搬送の分布結合に関する理論的ならびに実験的研
究：(高木，斎藤外 4 名と共著)，電学誌，**78**, 6, 1958. 6.

I G Y 観測ロケットのアンテナ：電気 4 学会連合大会講演論文集，847.

- 1958.
- 導波管内を伝播する電磁界の基本的性質：電気学会電磁界理論研究専門委，
1958. 9, 29.
- 導波管の壁面インピーダンスと伝播定数：信学誌，**42**, 1, 27～32. 1959, 1.
- パラメトリック増幅器の縦続接続：電気通信学会マイクロ波伝送研究専門
委. 1959. 1, 20.
- 導波管の壁面インピーダンスについて：電気通信学会，マイクロ波，アン
テナ研究専門委，電気学会，電磁界理論研究専門委，合同委員会，1959，
2, 18.
- 助教授 浜崎 襄二
- パラメトリック増幅器の縦続接続：(黒川兼行と共著)，電気通信学会マイ
クロ波伝送研究専門委員会，1959. 1, 20.
- 助手 後川 昭雄
- ドリフト・トランジスタのエミッタ障壁容量：電気通信学会全国大会講演
論文集，211, 1958. 11.

第 4 部

教授 岡 宗次郎

分析化学上，下 (編および一部執筆)：丸善，実験化学講座，**15**.

教授 高橋 武雄

電流滴定法を適用した連続電量滴定法：(桜井裕と共著)，分析化学，**7**，
296-300, 1950. 5.

第一鉄塩を用いた連続電量滴定法：(桜井裕と共著)，分析化学，**7**, 631-635，
1958. 10.

アセチレンの製造法の進歩：高圧ガス協会誌，**22**，285-290, 1958. 7.

連続分析について：計測，**8**，467-471, 1958. 8.

Some Development in Recording Polarography：(仁木栄次と共著)，
TALANTA, **1**, 177-183, 1958. 7.

An Improved Alternating Current Polarograph：(仁木栄次と共著)，
TALANTA, **1**, 245-248, 1958. 9.

Studies on Coulometric Cerimetry in Organic Analysis, Acta Do Cong-
resso **1**, 949-963, 1957 XV Congresso Internacional De Quimica

Puro E Aplicado (Quimica Analitica)

アルギン酸プロピレングリコールエステル¹の製造：(西出英一と共著)，工化，**61**，441-444，1958. 4.

アルギン酸ソーダの重合度分配：(笠原文雄，水本竜男と共著)，工化，**61**，1292-1294，1958. 10.

アルギン酸をイオン交換体とする金属イオンの分離定量：(江村悟と共著)，分析化学，**7**，568-571，1958. 9.

アルギン酸とその工業：化学と工業，**7**，596-606，1958. 7.

教授 永井 芳男

4-クロルナフタル-N-メチルイミドとベンズアントロンとのナトリウムアルコールによる縮合：工化，**61**，1271~4.

インダンスロンの連続的製造：(後藤信行と共著)，工化，**62**，485.

教授 山本 寛

飛沫同伴に関する研究—液状放射性廃棄物の蒸発処理—：化学工学，**22**，680~687，1958.

放射性廃棄物の廃棄処理について：化学工学，**22**，744-747，1958.

教授 浅原 照三

過酸化ベンズイルを反応開始剤とするエチレンと四塩化炭素とのテロメリゼーション：(高木行雄と共著) 工化誌，**62**，396~402. 1959. 3. 無水硫酸による脂肪酸の α -スルホン化に関する研究：油化学，27~30，1959. 1.

軟質油—有極性添加剤系のサビ止油試験法としてのマイクロ評価法とその統計的解析：(後藤健一と共著)，金属表面技術，**10**，58~66，1959. 2.

ニトロパラフィンとホルムアルデヒドとより生成したアミノアルコールの脂肪酸塩：工化誌，**61**，1162~6，1958. 9.

油脂に関する分析：分析化学(進歩総説号) 116~9 1958, 12.

活性剤に関する研究 (I) サーファクタント，**1**，2~4，1958. 6.

“ (II) “ **2**，2~4，1958. 11.

“ (III) “ **3**，2~5，1959. 3.

助教授 野崎 弘

A Theory on photosensitivity and Development in Silver Bromide Emulsion: Photographic Sensitivity Tokyo Symposium. **2**. 189~192, 1958. 6, 1.

セレン感光板の温湿度の影響：(坂田俊文と共著)，電子写真懇話会講演予

稿, 3, 1958, 11, 29.

助教授 加藤 正夫

Tm-170 を用いた 軽合金のガンマ線 ラジオグラフィに関する研究: (小林昌敏・関和一郎と共著), 第2回日本アイソトープ会議論文集, 59-63, 1958. 8.

放射線追跡子によるエンジン摩耗の研究 (第1報) —重水素核衝撃による放射性ピストンリングについて—: (津田野敏, 高井義郎, 梅原明と共著), 第2回日本アイソトープ会議論文集, 88~93, 1958. 8.

Isotopes in Industry: Text Book of the UNESCO Training Course in the Applications of Radioisotopes in Scientific Research, 日本原子力研究所アイソトープ研修所, 1958. 9.

Radioactive Tracing of Litoral Drift: (猪瀬寧雄と共著) The Exhibition in the Second International Conference on the Peaceful Uses of Atomic Energy in Geneva, 1958. 9.

ラジオアイソトープの工業利用: (井上, 三輪その他数氏と共著), ジュネーブ・ペーパー・ゼミナール・テキスト, 日本原子力産業会議, 91~130, 1958. 3.

助教授 山辺 武郎

炭酸イオンの陰イオン交換平衡: 工業化学雑誌, 61, 12, 1531.

硼酸のイオン排除による食塩からの分離 (下条うた子, 田中米吉と共著), 日本塩学会誌, 12, 5, 272.

助教授 武藤 義一

希土類元素の分析法 (第2報): (間宮真佐人と共著), 日化, 79, 809~812, 1958. 7.

化学への応用: エレクトロニクス講座, 応用篇, 5, 16, 共立出版, 1958. 7.

諸元素分析法: 実験化学講座, 15, (下) 42, 丸善, 1958. 9.

助教授 今岡 稔

フッ硫酸塩ガラスの研究: 工化, 61, 1121, 1958. 9.

助教授 中村 亦夫

イオン交換樹脂による糖類の取着: (吉弘芳郎, 日暮幸一郎と共著), 工化誌, 61, 9, 96.

ベンジジンによるブドウ糖水溶液中の H. M. F の比色定量: (吉弘芳郎と共著), 工化誌, 61, 8, 62.

着色ブドウ糖水溶液中の H. M. F の比色定量: (吉弘芳郎と共著), 工化誌,

62, 2, 58.

技官 原 善四郎

ソ連の粉末冶金：金属，28, 4.

第 5 部

教授 渡辺 要

雪と建築：彰国社，1958. 10.

暖房設計用地中温度と地下室の暖房負荷：日本建築学会論文報告集：60, 1958, 10.

合板の吸音性について（板状吸音材の吸音特性）：（石井聖光，木村翔と共著），日本建築学会論文報告集，60, 1~4, 1958. 10.

拡散体を取り付けた平面壁からのエコーの分布に関する超音波を利用した模型実験：（石井聖光と共著），日本建築学会 関東支部 研究発表会 梗概集，第4部会，9~12, 1959. 1.

教授 坪井 善勝

印度の建築：建築雑誌，73, 861, 1958. 8.

震度と耐震壁と基礎：建築雑誌，73, 862, 1958. 9.

鉄筋コンクリート板の曲げ破壊性状について：（末永保美と共著），建築学会 関東支部研究会，第24回発表会，1958. 6.

くぎ接合に関する実験報告：（矢代秀雄と共著），建築学会 関東支部研究会 第24回発表会，1958. 6.

非線型殻構造一般式：（角野晃二と共著），応力連合講演会，第8回，1958, 9.

逆対称曲げをうける円筒殻の弾性実験：（川口衛と共著），建築学会論文報告集，60, 1958. 10.

波型折面構造に関する実験的研究：（堀田茂と共著），建築学会論文報告集，60, 1958. 10.

球形殻の非対称曲げ理論，1曲げの微分方程式：（秋野金次，鄭炯と共著），建築学会論文報告集，60, 1958. 10.

球形殻の非対称曲げ理論，2.-Gegenbauer Function（超球函数）：（秋野金次，鄭炯と共著），建築学会論文報告集，60, 1958. 10.

H-P. シェルに関する実験的研究：(青木繁と共著)，建築学会論文報告集，**60**，1958. 10.

仕口における鉄筋の付着に関する実験的研究・その3（鉄筋コンクリート
架構接合部に関する研究・第16報）：(矢代秀雄と共著)，建築学会論
文報告集，**60**，1958，10.

軸力とせん断力とを受ける鉄筋コンクリート柱の実験的研究：(若林実，
末永保美と共著)，建築学会論文報告集，**60**，1958，10.

軸力とせん断力とを受ける鉄筋コンクリート柱の実験的研究—帯筋形式の
効果（その1）—：(末永保美と共著)，建築学会関東支部研究会第25回
発表会，1959，1.

教授 丸安 隆和

多角水準測量：オーム社，1958. 10.

論文

航空写真測量用カメラのロケット観測への利用測量：9～5.

航空写真の最近の発達と利用：土木学会夏期講習会用テキスト.

天然色航空写真に関する研究：土木学会論文集，**60**，別冊 3～2.

コンクリート品質管理とその効果：発電水力協会パンフレット.

助教授 勝田 高司

ダクト系の騒音制御について：(後藤滋，寺沢達二と共著)，衛生工業協会
誌，**32**，6，345～363，1959，6.

2，3の吹出口の形式とその発生音について：(後藤滋，寺沢達二と共著)，
日本建築学会論文報告集，**60**，12～20，1958. 10.

繊維沓材パネル型エア・フィルタの試作研究：(同上). 同上，169～172.

引違い鋼製サッシの気密，水密試験：(後藤滋，寺沢達二と共著)，日本建
築学会関東支部第25回発表会，1959. 1.

箱形消音器の消音特性に関する実験：(同上)，同上.

助教授 池辺 陽

モジュール基礎理論——数値の等比的展開について——：建築学会関東支
部研究発表会，1958. 7.

数値選択の理論——モジュール基礎理論——：建築学会論文報告集，**60**，
1958. 10.

GMモジュール：国際建築，1958. 7.

工業化のためのデザイン：住宅，38，39，42，43，44，45. 建築文化，
138.

建築モジュール：，標準化大会講演会 1958. 10.

助手 石井 聖光

定常状態における室内音場分布の実用計算について：日本音響学会講演論文集，61～2，1958. 5.

壁面からの“Echo”に関する模型実験について（第2報）：同上，81～2，1958. 5.

吸音パッチした壁面からのエコーに関する模型実験：同上 157～8，1958. 10.

吸音パッチによるエコー防止に関する超音波を利用した模型実験：日本建築学会論文報告集，60，13～6，1958. 10.

拡散体を取り付けた壁面からのエコーの分布に関する超音波を利用した模型実験：同上，61，1959. 3.